

平成16年度 年 報

釧路市立博物館

沿 革

施 設 の 概 要

運 営

組 織

職 員

予 算

利用状況

資 料 収 集

調 査 研 究

教 育 普 及

常設展示

特別展示

各種事業

出 版 物

協 力 事 業

寄贈資料一覧

1 沿革

昭和10年	釧路市立博物館設立委員会が発足。
昭和11年 7月14日	幣舞町旧市役所別館、元水道建設事務所 2 階を陳列室として「釧路市立郷土博物館」を開館。
昭和24年 2月1日	旧市役所庁舎拡張のため、北大通 5 丁目(丸三鶴屋 3 階を借り受け移転開館。
昭和26年 7月28日	鶴ヶ岱公園内に「釧路市立郷土博物館」新館竣工。
昭和27年 1月20日	釧路市立郷土博物館新聞創刊（現在の館報）。
昭和27年 4月1日	釧路市立郷土博物館が博物館に相当する施設として指定された。（文部省告示第13号）
昭和27年10月30日	釧路市立博物館が博物館として指定された。（文部省告示第162号）
昭和32年 7月2日	第 5 回全国博物館大会釧路市で開催。
昭和33年 4月1日	入館料が有料となる（大人10円、学生 5 円）。
昭和35年 4月1日	館内資料展示替え、5 年計画で開始。
昭和40年 7月8日	第4回北海道博物館大会釧路市で開催。
昭和41年 7月14日	創立記念30周年記念事業開催。
昭和42年 1月14日	博物館移築促進期成会準備委員会が発足し、移築促進についての陳情が行われる。
昭和43年 8月	佐藤直太郎コレクション1,889点寄贈される。
昭和44年 9月3日	安倍寛次コレクション3,536点寄贈される。
昭和46年 4月24日	釧路市立郷土博物館友の会発足。
昭和47年～平成11年	飯島一雄コレクション約 3 万点寄贈される。
昭和48年 9月	釧路市立郷土博物館新館設計調査小委員会発足。
昭和52年10月4日	釧路市埋蔵文化財調査センター開館。
昭和55年 6月18日	釧路市立郷土博物館新館展示等委員会発足。
昭和56年 5月1日	新築工事開始。
昭和58年11月3日	「釧路市立博物館」として開館。
昭和59年 7月6日	第23回北海道博物館大会釧路市で開催。
昭和61年 7月13日	創立50周年記念式典・祝賀会開催。
昭和62年10月6日	第35回全国博物館大会釧路市で開催。
平成元年 2月9日	昭和63年度全国博物館指導者研究協議会（庶務・自然史部門）釧路市で開催。
平成 3 年11月6日	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会役員会当館にて開催。

2 施設の概要

(1)	所 在 地	釧路市春湖台 1 番 7 号				
(2)	総事業費	1,911,326,000円				
(3)	敷地面積	4,450.00㎡				
(4)	建築面積	1,528.78㎡				
(5)	延床面積	4,301.76㎡				
(6)	建築構造	鉄筋コンクリート造 地下 1 階・地上 4 階				
(7)	工 期	建築工事着工	昭和56年 5 月 1 日	展示工事着工	昭和57年 6 月 4 日	
		〃 竣工	昭和58年 6 月30日	〃 竣工	昭和58年10月15日	
(8)	各階面積					
	1 階	1,500.09㎡	3 階	571.17㎡	塔 屋	145.65㎡
	2 階	886.75㎡	4 階	755.78㎡	地 下	422.30㎡
(9)	主室面積					
	展示室	1,162.88㎡ (1.2.4階)	市民研究室	21.84㎡ (3 階)		
	講 堂	165.89㎡ (1 階)	図書室	103.39㎡ (3 階)		
	工作室	103.78㎡ (1 階)	実験室	15.54㎡ (3 階)		
	滅菌消毒室	12.39㎡ (1 階)	冷凍室	10.92㎡ (3 階)		
	事務室	86.63㎡ (1.2階)	恒温恒湿収蔵庫	34.61㎡ (3 階)		
	特別展示室	97.95㎡ (2 階)	印刷室	11.13㎡ (3 階)		
	魚類収蔵庫	30.53㎡ (2 階)	会議室	44.15㎡ (3 階)		
	開拓記念物収蔵庫	128.00㎡ (2 階)	植物収蔵庫	30.48㎡ (4 階)		
	応接室	21.97㎡ (2 階)	動物収蔵庫	28.00㎡ (4 階)		
	地学収蔵庫Ⅰ・Ⅱ	18.77㎡ (3 階)	開拓記念物収蔵庫	91.32㎡ (4 階)		
	研究室	66.37㎡ (3 階)	機械・ボイラー室	327.79㎡ (地下)		
(10)	収容能力					
	展 示 室	600人	講 堂	100人	市民研究室	10人
					会議室	25人

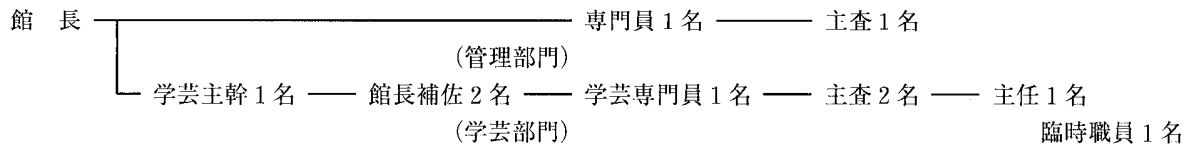
釧路市立博物館

(11) 建築意匠

釧路市立博物館は、釧路市埋蔵文化財調査センター（延床面積973.41㎡）と併置しており、建築設計は釧路市出身の建築家毛綱毅曠氏によるもので、昭和59年度日本建築学会賞受賞作品。タンチョウが羽をひろげた姿をイメージした建物である。階段状の屋根は、博物館の位置する春採湖畔の丘陵の等高線を表現したものである。

3 運 営

(1) 組織



(2) 職員

館長	西 幸隆	学芸専門員（学芸員）	山代 淳一
学芸主幹（学芸員）	橋本 正雄	主 査	加藤 春雄
館長補佐	平野清次郎	主 査	免田 勝弘
館長補佐（学芸員）	針生 勤	主 査（学芸員）	戸田 恭司
専 門 員	赤川 祐征	主 任（学芸員）	土屋 慶丞

(3) 私の博物館企画選定委員（任期 平成16年4月～平成17年3月）

委員長 林田 恒夫 病院事務長
委 員 我孫子尚枝 陶芸家
〃 高嶋 幸男 大学教授
委 員 新妻 賢二 会社社長
〃 藤田 民子 詩 人

(4) 予 算 (平成16年度)

歳入予算総額	7,336千円	歳出予算総額	46,532千円
博物館入館料	6,860千円	管理運営費	44,543千円
その他	476千円	事業費	823千円
		資料収集整備費	173千円
		教育普及活動費	907千円
		調査研究費	86千円

(5) 平成16年度 利用状況

月別入館者状況

月別	開館 日数	個 人				団 体				有 料 入館者	無 料 入館者	入館者 総 数
		一般・大学生	高 校 生	小・中学生	計	一般・大学生	高 校 生	小・中学生	計			
4	25	589	6	158	753	0	0	0	0	753	663	1,416
5	26	1,243	26	371	1,640	19	0	0	19	1,659	1,398	3,057
6	26	602	7	92	701	129	0	99	228	929	1,135	2,064
7	26	992	10	184	1,186	157	0	22	179	1,365	1,316	2,681
8	26	1,835	49	482	2,366	104	2	167	273	2,639	1,526	4,165
9	24	1,089	6	169	1,264	33	239	194	466	1,730	1,912	3,642
10	26	773	17	145	935	75	23	28	126	1,061	4,149	5,210
11	23	421	2	99	522	44	0	0	44	566	1,146	1,712
12	24	169	6	45	220	0	0	0	0	220	664	884
1	21	391	9	82	482	23	39	9	71	553	439	992
2	23	305	11	36	352	140	0	9	149	501	570	1,071
3	26	402	14	64	480	140	0	23	163	643	492	1,135
計	296	8,811	163	1,927	10,901	864	303	551	1,718	12,619	15,410	28,029

4 資料収集

収蔵資料状況（平成17年3月現在）

区 分	平成14年度 までの累計	平成15年度 新収蔵資料数	平成16年度 新収蔵資料数	合 計
人 文 科 学	35,046	12,432	461	47,939
自 然 科 学	56,945	576	6,731	64,252
美 術 工 芸	215	0	0	215
合 計	92,206	13,008	7,192	112,406

5 調査研究

釧路湿原継続調査、春採湖のヒブナ生息調査、釧路地方の鳥獣類生息調査・昆虫相調査・淡水魚の生態調査・貝化石の調査、イトヨの形態学的生態学的調査、博物館資料の分類整理に関する調査研究・保存処理研究。

6 教育普及

(1) 常設展示

本館の常設展示テーマは「北の大地にくりひろげられた自然と文化」である。北緯43度に位置する釧路地方の自然と歴史を、この地方ならではの素材で7つのテーマに分けて紹介している。

- 1) 1階エントランスホール〔氷期の使者マンモス〕 正面玄関のホールにマンモスの骨格標本が、入館者を迎える。マンモスは、地球上最後の氷河期にユーラシア大陸から北海道へ渡ってきたといわれ、北方圏の博物館であることを主張している。
- 2) 1階展示室〔釧路の大地〕 地球模型で、現在の釧路の地形を概観し、パネルや標準化石によって、現在の釧路が形づけられるまでを説明する。特に湿原については、古地理図や断層断面で湿原のおいたちが理解できるようにしている。
- 3) 1階展示室〔釧路の生物〕 ジオラマにより釧路湿原の植物・魚の種類や形態を、本数や密生の様子生育立地を正確に復元した。針葉樹や広葉樹の入り混じる樹林や、釧路地方に生息する昆虫・鳥獣類の生態を展示している。
- 4) 1階展示室〔釧路の海〕 寒海性の魚を、砂底・岩礁・外洋・深海にわけて紹介し、サケ・コンブ・海獣類や、海鳥繁殖地として知られる大黒島での鳥獣のすみわけを展示している。
- 5) 2階展示室〔釧路の先史時代〕 復元資料として、東貝塚の貝層断面、東釧路人の墓、三津浦遺跡の炉址、フシココタンチャシのアカウミガメがある。古釧路湾のころ、東釧路の貝塚、海岸線の集落、川すじの集落、チャシが築かれたころの各論で構成している。
- 6) 2階展示室〔釧路の近世と近代〕 国内でも最大規模の霧笛のラッパ、川崎船、焼玉エンジンをメインに配置し、霧の港と水産の街を象徴。本市の基幹産業を育てた馬産・林業・炭鉱・漁業の道具や資料写真で、資源を求めて開拓にあたった姿を紹介している。
- 7) 4階展示室〔サコロベの人々〕 釧路のアイヌの人々の生活資料を中心に430点の資料を選び、壁側は狩猟・漁撈・採集・農耕、衣・食・住、信仰・儀式、交通・運搬の9項目に分類し、中央には首飾り・耳輪、喫煙具・育児具・楽器・棒酒甕・鏝などを抽出し展示している。
- 8) 4階展示室〔タンチョウ〕 映像で世界の鶴の種類やタンチョウの四季の生活を紹介。骨格標本と剥製標本、それに羽、気管の実物模型を使いタンチョウの形態を紹介している。展示物が観覧者をとりかこみ、展示物のなかを散策しながら情報の得られる直径10mの大型ジオラマは、冬の湿原で愛の舞をくりひろげるタンチョウのつがいや、6月ころの湿原で卵からかえったヒナ、給餌するタンチョウの親子の姿が美しい背景の中で楽しめる。
- 9) 立体環境音楽 常設展示は8つの小テーマからなるが、これらのテーマの情景を音で伝達するため、展示室には立体環境音楽が採用されている。各コーナーにより、「湿原を吹きぬける風と水の流れ」、「ひろがる北の海」、「時の流れ」、「コタンを吹きぬける風や梢からこぼれる陽の光」、「湿原とタンチョウ」など異なったテーマの音楽が流れ、見学者に五感で訴える展示となっている。

(2) 特別展示

1) 特別展「収蔵資料展」 平成16年4月24日(土)～5月23日(日)

常設展示（展示数4,100点）では展示されていない未公開資料を含めた所蔵資料を展示。植物・鳥獣・昆虫・地学・歴史の各分野の資料あわせて約140点を紹介した。また、5月1日～5日には、各分野の展示解説を行った。

2) 特別展「屋根のない博物館、春採湖」 平成16年7月10日(土)～8月22日(日)

釧路市立博物館所蔵の春採湖産鳥類45種、シダ植物12種、昆虫類415種、淡水魚12種の標本、および関連書籍・地図など12種の計12種496点を展示した。

3) 特別展・私の博物館「鉄道模型コレクション～Nゲージの仲間たち～」

平成16年9月18日(土)～10月17日(日)

提供者：常見貞司氏。小学生時代から30年近くかけて収集した、常見氏のNゲージ鉄道模型コレクションのなかから特急つばめや蒸気機関車、電車など計386両を展示した。会場には列車のポスターや絵画、ダルマストーブなどもあわせて展示した。

4) 特別展・私の博物館「愛する1枚～レコードジャケットコレクション～」

平成17年2月26日(土)～3月27日(日)

提供者：稲村親司氏。1960年代～80年代前半に稲村氏が収集した洋楽レコードジャケット59点、70年代～現在までのコンサートプログラム11点、70～90年代の音楽雑誌6点など計81点を展示した。

(3) 各種事業

月 日	事業名	対象	参加者数
4月3日	春採湖畔花暦調査開始 毎週土曜日、10月迄継続		
4月10日	釧路昆虫同好会総会 3階会議室		
4月17日～ 5月30日	林田恒夫写真展「世界のツルを撮る」 マンモスホール		
4月24日～ 5月23日	特別展「収蔵資料展」 特別展示室		
4月25日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	46名
5月3日	体験講座「竹トンボを飛ばそう」	小・中学生	14名
5月13・14日	キタサンショウウオ生息調査		
5月15日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	36名
5月16日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	13名
5月19日	道東3管内博物館施設等連絡協議会 16年度役員会・総会 3階会議室		
5月23日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	28名
5月27日	博物館友の会総会 交流プラザさいわい		
5月30日	釧路町森林公園「探鳥会」	小学生～一般	29名
6月5日～ 6月20日	特別展「タンチョウイラスト展」 マンモスホール		
6月5日	「しらべてみよう春採湖の昆虫－春採湖畔の土壤動物－」	小学生～一般	21名
6月6日	歴史探訪会「まちなみ散歩」	小学生～一般	6名
6月6日	体験講座「化石クリーニング教室」	小・中学生	16名
6月13日	北斗湿原「探鳥会」	小学生～一般	20名
6月19日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	39名
6月23日	道博協芸芸職員部会役員会・研修会 芦別市、戸田圭出席		
6月26日	史跡探訪会「もっと知ろう北斗遺跡」	小学生～一般	10名
6月27日	春採湖畔一周「探鳥会」	小学生～一般	23名
7月3日	「しらべてみよう春採湖の昆虫－ガの観察・ライトトラップ－」	小学生～一般	14名
7月6日	「私の博物館」企画選定委員会 3階会議室		
7月10日～ 8月22日	特別展「屋根のない博物館、春採湖」 特別展示室		
7月17日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	32名
7月18日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	15名
7月25日	春採湖なんでもQ&A観察会	小学生～一般	17名
7月31日	夏休み親子土器づくり教室	小学生～一般	19名
8月1日	座談会「語りませんか！私の好きな春採湖」 講堂	小学生～一般	12名



キタサンショウウオ生息調査



化石クリーニング教室



特別展「屋根のない博物館・春採湖」



座談会「語りませんか！私の好きな春採湖」

月 日	事 業 名	対 象	参加者数
8月3日 ～8月8日	一般大学博物館実習		6名
8月4日	体験講座「せんべいをつくろう」 講堂・前庭	小・中学生	33名
8月5日	「化石レプリカ教室」 講堂	小・中学生	17名
8月6日	世界子どもサミット 春採湖観察	小・中学生	260名
8月7日	「しらべてみよう春採湖の昆虫－春採公園のトンボ池－」	小学生～一般	27名
8月8日	「親子の昆虫採集・観察会」 温根内	小学生～一般	32名
	「昆虫の名前を調べる会」 講堂	小学生～一般	23名
8月15日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	13名
8月21日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	34名
8月22日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	12名
	歴史探訪会「まちなみ散歩」 釧路川河畔	小学生～一般	17名
9月1日～ 9月12日	「おさかなセミナー2004」 パネル展 マンモスホール		
9月4日	博物館ツアーガイド「英語でチャレンジ」 常設展示室	学生・一般	11名
	「しらべてみよう春採湖の昆虫－スズメバチの観察－」	小学生～一般	17名
9月5日	史跡探訪会「もっと知ろう北斗遺跡」 北斗遺跡	小学生～一般	10名
9月11日	第20回ミュージアムコンサート 「チェロの夕べ」 1階展示室 演奏者・毛利 巨塵氏	小学生～一般	41名
9月12日	春採湖畔「一周探鳥会」	小学生～一般	17名
9月18日～ 10月17日	特別展 私の博物館「鉄道模型コレクション－Nゲージの仲間たち－」 常見貞司氏、マンモスホール		
9月18日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	34名
9月26日	第14回「博物館まつり」 講堂・前庭	小学生～一般	253名
10月2日	「身近な自然調査」報告会 講堂	小学生～一般	40名
10月3日	歴史探訪会「まちなみ散歩」 旭町・川上町	小学生～一般	8名
	博物館ツアーガイド「英語でチャレンジ」 常設展示室	学生・一般	5名
10月6日	道博協ミュージアムマネジメント研修会 今金町、免田主査出席		
10月20・21 日	道東3管内博物館施設等連絡協議会研修会 標茶町		
10月24日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	15名
	地形・地質探訪会「藻琴山登山観察会」 藻琴山・和琴半島	小学生～一般	30名
10月22日 ～10月29日	巡回展「移動博物館」 コア鳥取		
10月26日	「ヒブナ稚魚放流」 柏木小3年生参加、 春採湖		
10月29日 ～11月10日	巡回展「移動博物館」 大楽毛小		
10月30・31 日	青少年科学館「サイエンス屋台村」 講堂		
11月2日	巡回展「移動博物館：伝統技術実演会（畳の貼替え）」 大楽毛小		
11月3日	友の会講演会「釧路気候風土から－霧のいろいろ－」 講師・伊東俊明氏・講堂	小学生～一般	24名
11月10日 ～11月24日	巡回展「移動博物館」 新川小		



せんべいをつくろう



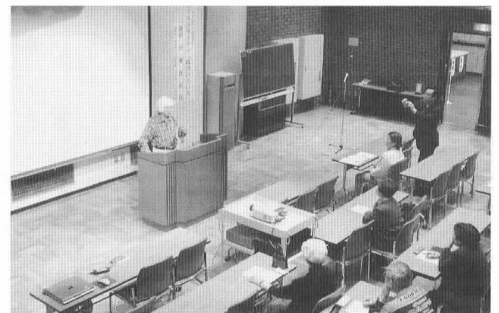
博物館まつり



藻岩山登山観察会



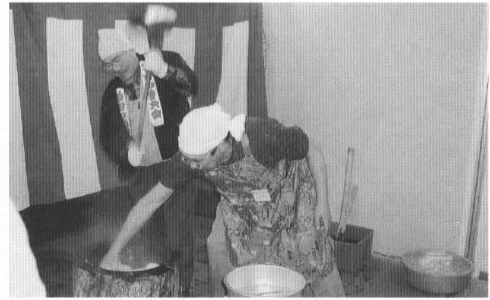
ヒブナ稚魚放流



友の会講演会

釧路市立博物館

月 日	事 業 名	対 象	参加者数
11月12日	巡回展「移動博物館：伝統技術実演会 (畳の張替え)」 新川小		
11月14日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	16名
	博物館ツアーガイド「英語でチャレンジ」	学生・一般	3名
	常設展示室		
11月19日	春採湖ヒブナ生息調査		
11月20日	学芸員トーク「春採湖と人々の暮らし」	小学生～一般	15名
	戸田主査、講堂		
11月21日	講演会「ヨーロッパのクロヅル」 タンチ ヨウ保護調査連合会主催 講堂	小学生～一般	24名
11月27日	学芸員トーク「カモメの話」 橋本学芸主 幹、講堂	小学生～一般	22名
12月 2 日	「私の博物館」企画選定委員会 3 階会 議室		
12月 4 日	学芸員トーク「大正期の遺跡発掘」	小学生～一般	24名
	西館長、講堂		
12月11日	学芸員トーク「記録で見る2004年スズメ バチの大発生」 土屋主任、講堂	小学生～一般	20名
12月16日	館内資料整理のため臨時休館		
12月28日	体験学習「おそなえもちをつくろう」	小・中学生	88名
	講堂・荷解室・車庫		
1 月14日	「化石レプリカ教室」 講堂	小・中学生	19名
1 月16日	「雪と氷の自然観察」 春採湖	小学生～一般	7名
1 月22日	学芸員トーク「春採湖の水生生物の最近 の変化について」 針生館長補佐、講堂	小学生～一般	16名
1 月29日	学芸員トーク「道東の火山地形について」	小学生～一般	24名
	山代学芸専門員、講堂		
2 月 6 日	「歩くスキーアニマルトラッキング」	小学生～一般	31名
	温根内ビジターセンター・ボランティア レンジャー共催、温根内木道		
2 月12日	博物館講座「平山修二郎と原色千種昆虫 図譜の世界」 土屋主任、講堂	小学生～一般	11名
2 月26日～ 3 月27日	特別展 私の博物館「愛する一枚ー洋楽 レコードジャケット展ー」 稲村親司氏、 マンモスホール		
3 月 6 日	「冬の海鳥観察会」 桂恋漁港	小学生～一般	10名
	「石器づくり教室」講師：寺崎康司氏、 講堂	小学生～一般	18名
3 月12日	講演会「サハリンの遺跡」	小学生～一般	35名
	講師：右代啓祝氏、講堂		
3 月13日	特別展講座「レコードで聴くロックの世 界」 講堂	小学生～一般	15名
3 月25日	道博協役員会 札幌市、西館長出席		



おそなえもちをつくろう



歩くスキーでアニマルトラッキング



私の博物館「愛する一枚ー洋楽レコードジャケット展」



石器づくり教室

(4) 出版物・刊行物

- ・釧路市立博物館館報：昭和27年 1 月に釧路博物館新聞として発刊以来、平成17年 3 月号をもって388号に達した。
B 5 版、12頁、800部、年 4 回刊行。
- ・釧路市立博物館紀要：昭和47年 3 月に第 1 輯を発刊、平成17年 3 月に第29輯を刊行。
- ・博物館総合案内：B 5 版、カラー87頁、常設展示物を解説した総合ガイドブック。
- ・解説シリーズ：B 6 版、釧路の自然・歴史をやさしく解説した小冊子、シリーズ 9 まで刊行。

7 協力事業

- (1) 北海道博物館協会、道東3管内博物館施設等連絡協議会への協力
- (2) 関係団体への協力
釧路市立博物館友の会、釧路自然保護協会、日本野鳥の会釧路支部、釧路考古学研究会、釧路昆虫同好会
- (3) 国、道、各市町村（教育委員会含む）、博物館その他機関への協力
環境省庁
- (4) 博物館実習
平成16年7月～平成17年2月：北海道教育大学教育学部釧路校19名
平成16年8月3日～平成16年8月8日：帯広畜産大学1名、札幌大学2名、東京農業大学1名、北海道文教大学1名、武蔵女子短期大学1名

8 寄贈資料一覧

番号	受入年月日	資 料 名	点数	寄 贈 者
1	2004. 4. 2	前掛けほか	8	榎塚 丈人
2	4. 7	写真帳ほか	49	大野 綾
3	4. 13	乗車券ほか	6	中江 成徳
4	5. 12	盃ほか	8	渥美 利之
5	5. 16	扇風機ほか	2	藤原 芳夫
6	5. 19	レコード	17	高山 コウ
7	6. 3	包装紙ほか	12	土田 栄子
8	6. 13	角巻ほか	7	新川 庄一
9	7. 11	ステレオほか	4	中川 弘
10	9. 10	火鉢	1	金澤 定七
11	9. 18	ダルマストーブほか	4	旭 迪
12	10. 15	湯沸かし器	1	坂下 廣司
13	11. 30	レコード	5	石川 盛康
14	12. 1	ピンバッジほか	91	釧路市教委スポーツ課（保管 転換）
15	2005. 3. 4	パンフレットほか	5	山本 松司
16	3. 4	坑内帽・石炭	2	鹿島 栄一
17	3. 4	自動車模型ほか	239	釧路市青少年科学館（保管転 換）
18	3. 30	アオウミガメ剥製	1	舟木米太郎